

第2回学校評価の結果と考察



荒尾市立桜山小学校

2026年1月27日

令和7年度桜山小学校【2回目】学校評価アンケート集計結果

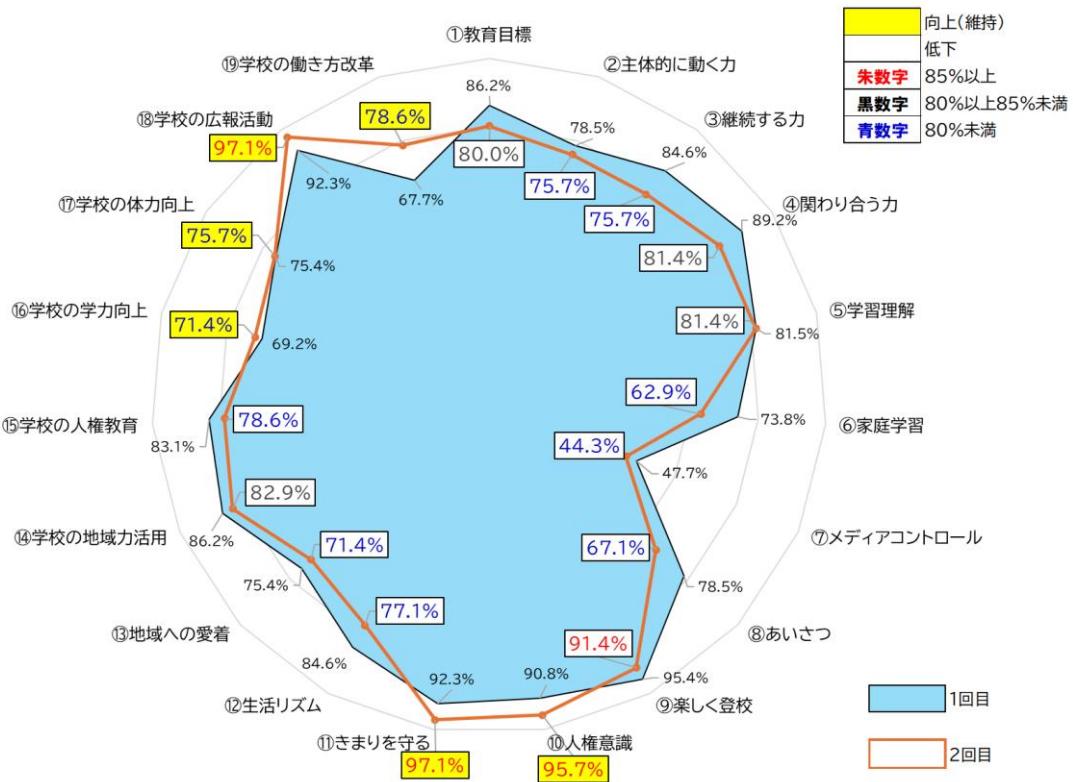
荒尾市立桜山小学校 校長 北岡 誉久

2回目の学校評価アンケートありがとうございました。本年度から2回の学校評価を実施することとしました。今回の結果は、学校運営協議会における協議内容に取り上げ、来年度の本校教育活動の改善に生かしていきたいと思います。

※グラフは、各質問項目において「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を併せた数値となっていますので、低い項目は「どちらかといえばそう思わない」「思わない」「わからない」の数値が高いことを意味します。

【保護者による評価】回収率60%（1回目は53%）

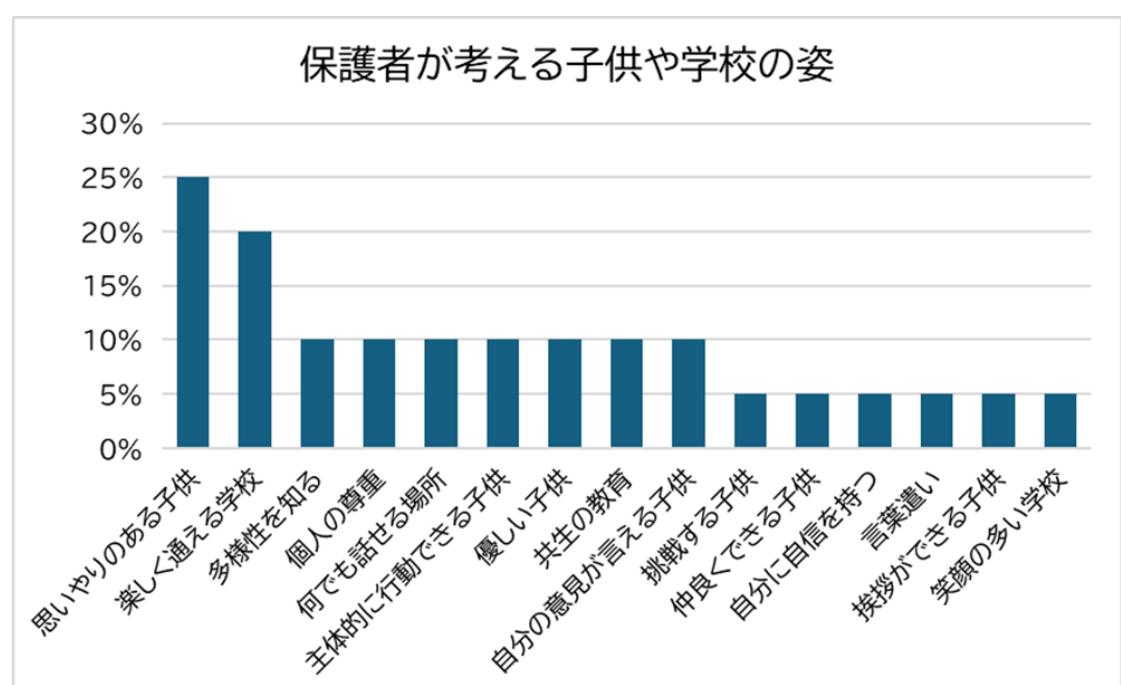
第2回学校評価結果【保護者から見た“子供や学校”的様子】1回目との比較



	質問事項	1回目	2回目
①	お子さんは、教育目標「健やかで、豊かな心と確かな学力を身に付け、未来を力強く切り拓く子ども」に育っていると思いますか。	86.2%	80.0%
②	お子さんは「主体的に動く力」が身に付いていると思いますか。	78.5%	75.7%
③	お子さんは「継続する力」が身に付いていると思いますか。	84.6%	75.7%
④	お子さんは「関わり合う力」が身に付いていると思いますか。	89.2%	81.4%
⑤	お子さんは「学習内容がわかる」と言っていますか。	81.5%	81.4%
⑥	お子さんは、進んで宿題や家庭学習に取り組んでいますか。	73.8%	62.9%
⑦	お子さんは、メディアの時間（スマホやテレビ、ゲームなど）をコントロールする力が身に付いていると思いますか。	47.7%	44.3%
⑧	お子さんは、登下校など地域において、明るく元気なあいさつをしていると思いますか。	78.5%	67.1%
⑨	お子さんは、楽しく学校に通うことができていますか。	95.4%	91.4%
⑩	お子さんは、いじめを許さないなどの人権意識が育っていると思いますか。	90.8%	95.7%
⑪	お子さんは、約束やきまり（地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などの遊び方等）を守っていると思いますか。	92.3%	97.1%
⑫	お子さんは、生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）の習慣が身に付いていると思いますか。	84.6%	77.1%
⑬	お子さんは、地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、地域への愛着が身に付いていると思いますか。	75.4%	71.4%
⑭	桜山小は、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	86.2%	82.9%
⑮	桜山小は、いじめや差別をなくすために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	83.1%	78.6%
⑯	桜山小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	69.2%	71.4%
⑰	桜山小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	75.4%	75.7%
⑱	桜山小は、学校や学級の様子及びお知らせ（学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等）を適切に伝えていると思いますか。	92.3%	97.1%
⑲	桜山小は、職員の働き方改革に向けて業務改善や家庭・地域の理解が進んでいると思いますか。	67.7%	78.6%

【保護者が考えるこれからの学校】

- ・多様性を知り、個人を尊重し認め合う
- ・学校内だけでなく進んで地域の方などにも挨拶ができる子どもになってほしい。周りの友達を気遣いながらも自分の意見を伝える力を身に付けてほしい。
- ・子どもたちが楽しく過ごせて、友達にも先生にも自分の気持ちを我慢せず言える場所になって欲しい
- ・相手の傷みを理解できる人間に育って欲しい
- ・学年関係なく、仲良くなってほしい。
- ・子どもたちが元気に楽しく通える学校であってほしいと思います。
- ・困っている子どもが、先生でも友達でも周りの大人でも、誰でもいいので話せる人や場所をつくってあげられたらいいな。と思います。
- ・気持ちを自身の胸に押し込めない、言葉の使い方等、道徳の分野をお願いしたい。
- ・主体的にがんばる子供
- ・人に優しい子供になって欲しいです。自分に自信を持って欲しいです。
- ・笑顔の多い学校
- ・相手の傷みを理解できる人間に育って欲しい
- ・桜山小の子供たちは元気でのびのびしていて自由な印象ですが、その反面人に言っていいこと悪いこと(人の容姿についてなど)の判断がつかない子も多いように感じます。
- ・さくらんぼ組の子供さんに対しても良くない発言や態度が見受けられるようです。(子供から聞きました。)
- ・周りへの気遣いや思いやりを学んで欲しいと思います。
- ・思いやりのある優しい子に育ってほしい。
- ・子供が楽しく通えていればそれが1番だと思います。
- ・自分が興味がない事でも挑戦して、学んで欲しい。
- ・自分で考えて行動し、目標に向かって努力できる子になって欲しいです。
- ・優しい子供
- ・多様性を知り、個人の尊重を身につける
- ・楽しく学校に通ってほしい
- ・人との関わりもうまくできるように
- ・通常クラスと特別支援クラスの壁がまだまだあると思います。そう言うのを乗り越えて友達をたくさん作ってほしいです。



【学校教育目標等に関する内容 問1～問4】

▲ 教育目標、3つの身についてほしい資質・能力についていずれも前回を下回る評価となっていました。来年度に向けて現在の子供たちの状況やこれから先必要な資質・能力について改めて協議し、取り組んでいきたいと思います。

【学習に関する内容 問5～問6】

▲ 「家庭学習」は前回からさらに低い評価でした。学力の定着において家庭学習の習慣化は重要になってきます。課題の出し方に関して子供たちが自律的に取り組めるよう工夫するとともに、ご家庭でも引き続きお声かけをお願いします。

【子供さんの様子や家庭生活及び地域とのつながりに関する内容 問7～問13】

○ 「楽しく登校する」「人権意識が育っている」「きまりを守っている」の項目が高い評価だったことに感謝いたします。しかし、少數ながらできていない5ポイント～10ポイントの子供たちのことを念頭に置いた取組を進めて参ります。

▲ 「メディアコントロール」「あいさつ」「地域への愛着」「生活リズム」が低い評価でした。特に「メディアコントロール」に関しては19の項目の中で最も低い値となっていました。生活リズムや家庭学習にも関連してくる項目ですし、秋に行った子供たちの“心のアンケート”では、1日に4～5時間もメディアに時間を使っているという回答もありました。今一度、ご家庭でもルールの確立と徹底をお願いします。

【桜山小の取組に関する内容 問14～問19】

▲ 「学校の人権教育」が前回よりも5ポイントほど下がってしまいました。人権学習や人権集会の様子などをもっとお伝えするとともに、子供たちの姿でお伝えできるように取り組んでいきたいと思います。

○ 「学力向上」「体力向上」「学校の広報活動」「学校の働き方改革」の項目は、前回よりも向上していました。学力に関しましては、受け身ではなく主体的に学ぶ子供たちが育つような授業改革に取り組んでいます。2月27日に開催予定の本年度最後の授業参観では、その取組の様子を見ていただきたいと思っています。さらに、誰一人取り残さない学びの保障を行うために、今後は個別指導も充実させていこうと考えています。「学校の広報活動」については、学校HPを毎日更新し、月に2回の学校だよりの発行等を行ってきました。今後は、是非これらの広報内容に関してご家庭で子供たちとの会話のネタにしていただければと思っています。そのための情報提供を引き続き充実させていきます。

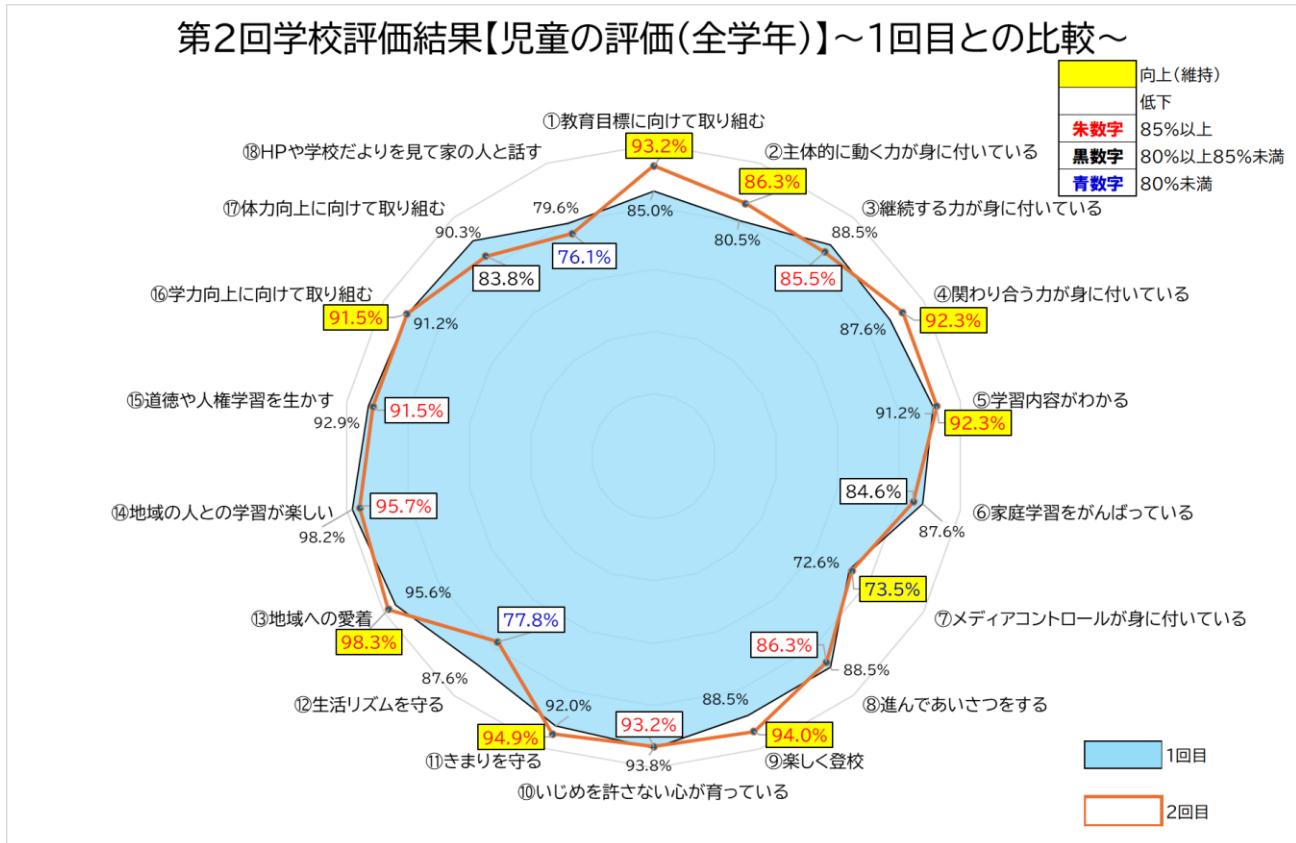
【保護者が考えるこれからの学校】

これからの中学校について、多くのご意見をいただきました。

みなさんのご意見は、全職員で「子供たちに身に付けさせたい資質・能力」を考える会議や5年生児童全員、全職員、そして学校運営協議会委員による「来年度の中学校の教育目標及び資質・能力の具体的な姿」を創る際に参考にさせていただいている。

今必要となる力だけでなく、今後10年後20年後の未来に必要な力も視野に入れて考えていますが、保護者の方々が多く望まれている「心」の面は、しっかりと反映させていきたいと思います。

【児童による評価】



	質問事項	1回目	2回目
①	「夢（ゆめ） チャレンジ 仲間（なかま）とともに そして、地域（ちいき）とともに」に むけた とりくみ ができるとおもいますか。	85.0%	93.2%
②	「主体的に動く力（しゅたいに動ききのう）」が みについていると おもいますか。	80.5%	86.3%
③	「継続する力（けいぞくするちから）」が みについていると おもいますか。	88.5%	85.5%
④	「関わり合う力（かわりあうちから）」が みについていると おもいますか。	87.6%	92.3%
⑤	がっこうの じゅぎょう（がくしゅうないよう）は わかりますか。	91.2%	92.3%
⑥	しゅくだいや かていがくしゅうを くふうして がんばっていますか。	87.6%	84.6%
⑦	メディア（スマホやテレビ、ゲームなど）のじかんを コントロールする ちからが みについていると おもいますか。	72.6%	73.5%
⑧	じぶんから おうちや ちいきで あかるく げんきな あいさつを することができていますか。	88.5%	86.3%
⑨	たのしく がっこうに かようことが できていますか。	88.5%	94.0%
⑩	ともだちを からかったり、いじめたりすることを ゆるさない こころが みについて いますか。	93.8%	93.2%
⑪	がっこうや いえ、ちいき（こうえん）での やくそくや きまり（こうつうルールも）を まもった せいかつが できていますか。	92.0%	94.9%
⑫	せいかつリズム（はやね・はやおき・あさごはん）は まもれていますか。	87.6%	77.8%
⑬	ちいきとの つながり（ちいきでの ぎょうじや かつどう）を とおして、さくらやまの こうくや あらおしのことを たいせつに したいと おもいます	95.6%	98.3%
⑭	ちいきのひとたちと いっしょに がくしゅうや かつどうを することは たのしいですか。	98.2%	95.7%
⑮	いじめや さべつを なくために、どうとくや じんけんがくしゅうで まなんだことを いかして せいかつして いますか。	92.9%	91.5%
⑯	じぶんの がくりょくを のばすために せつきよくてきに じゅぎょうに さんかしたり、かていがくしゅうに とりくんだり していますか。	91.2%	91.5%
⑰	たいりょくの こうじょうや けんこうを かんがえた せいかつを おくっていますか。	90.3%	83.8%
⑱	がっこうだよりや がつきゅうつうしん、ホームページをみて、おうちのひと はなしていますか。	79.6%	76.1%

【学校教育目標等に関する内容 問1～問4】

- 学校教育目標（スローガン：夢 チャレンジ仲間とともに そして、地域とともに）に向けた取組や3つの資質・能力について、前回よりも向上していました。自分たちで授業を進めたり、地域の方々と行事に取り組んだりしてきた成果だと言えます。

【学習に関する内容 問5～問6】

- 「授業（学習内容）がわかる」と答えていた子供は、前回からさらに伸びていました

が、前回同様「友達に教えられるようになる」「自分で問題を作ることができるようになる」ことを通して、「わかったつもり」からの脱却を目指します。さらに、「わからない」と仲間や教師に伝えられる学級の雰囲気を大切にしていきたいと思います。

また、この逆の回答をしていた少数の子供たちについて、個別の指導を行うなどして学びの保障を進めてまいります。

【生活及び自分自身のことに関する内容 問7～問12】

- 「楽しく学校に通うことができている」は、前回から5.5ポイント向上して94%になっていました。学年別で見ると、学年差はあるものの全ての学年で向上しています。しかしながら、子供たちにとって、どのような状態が「楽しい」と言えるのかといったことも考えさせていきたいと思います。また、少数ながら逆の回答をしていた子供たちのことを見落とさないようにしたいと思います。
 - ▲ メディアコントロール及び生活リズムの項目に関しては、今回も8割に届かない結果でした。特に、生活リズムについては10ポイントほど低下しています。携帯ゲームやスマート等、家族の目の届かない場所で時間を費やすことが増えていることが考えられます。ご家庭で今一度ルール作りやそれを守る約束を決めるなどお願いします。
- 特に生活リズムに関しては、高学年ほど低い結果となっています。(今回の調査では5年生が最も低い結果でした)

【地域とのつながりや学んだことを生かそうとすることに関する内容 問14～問17】

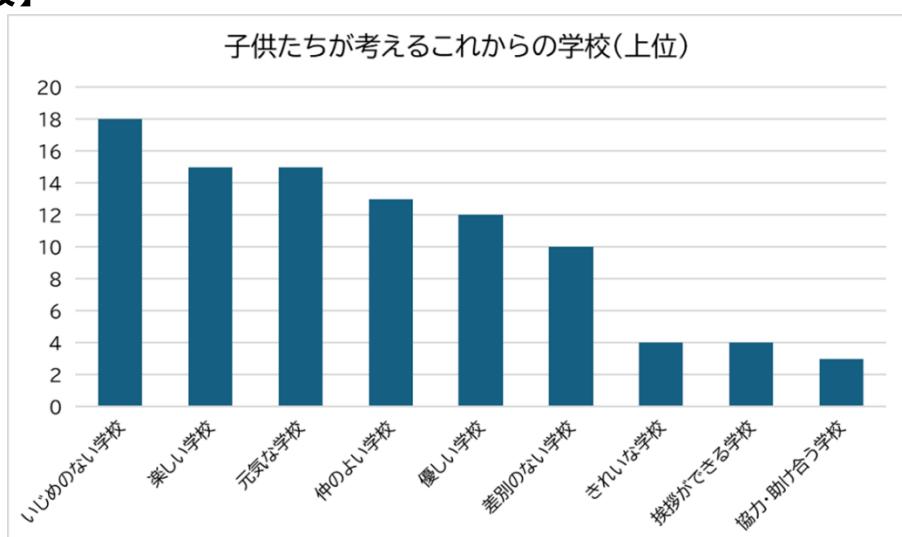
- 1回目の評価の後、地域と一緒に取り組んできた「防災実践」や「ふれあい祭り」「クリーン作戦」などが“地域とともに”取り組むことへの意識を高めているようです。
- 人権学習で学んだことを生かすことや授業に積極的に参加するという項目は、9割を超えていました。主体的に取り組むことや当事者意識を持って取り組むことを推奨していきたいと思います。

【学校からのお知らせを家族と共有することに関する内容 問18】

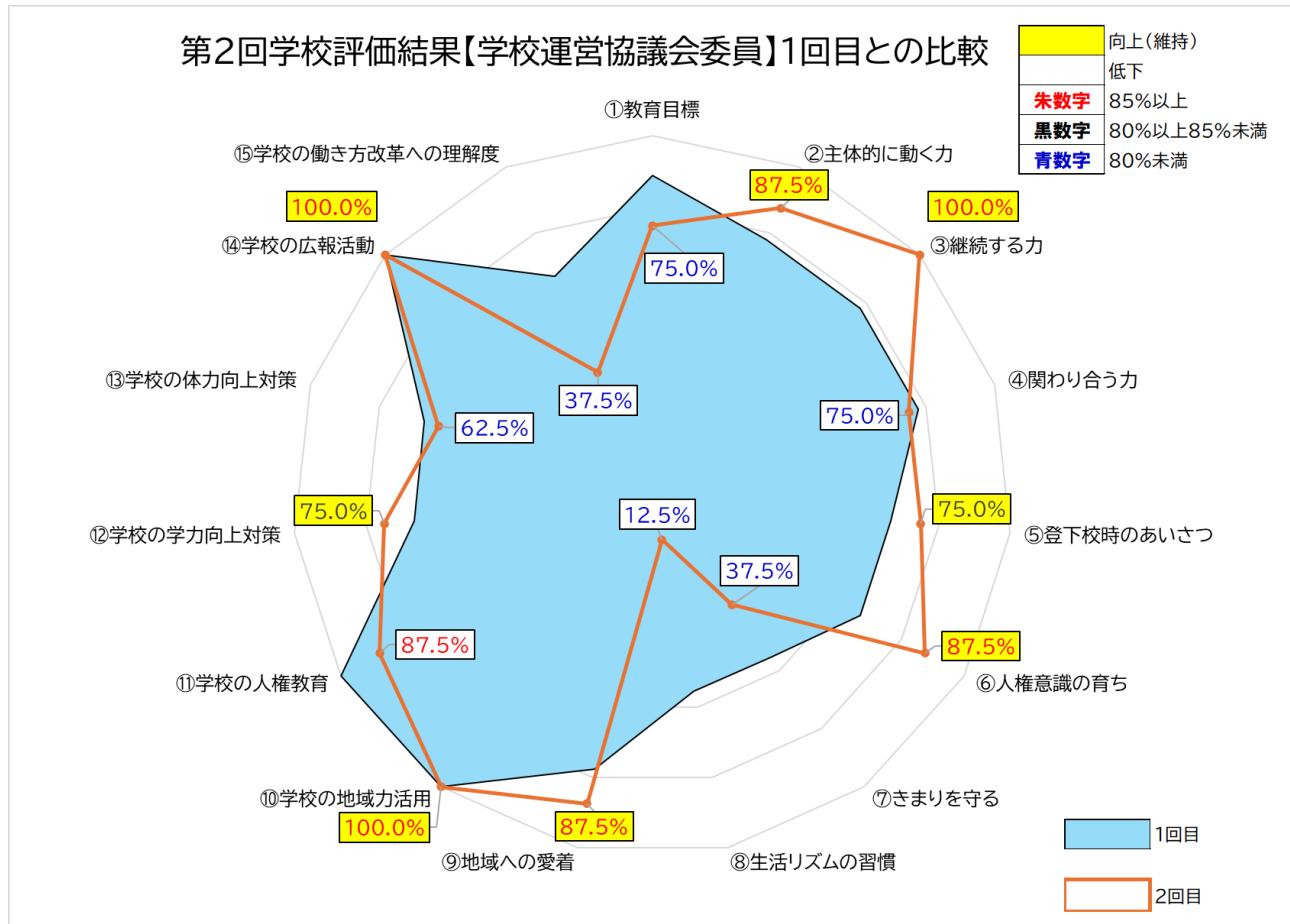
- ▲ 今回も子供たちは、学校の情報(HPや学校だより等)について、家庭で話していないという結果でした。保護者の欄でもお願いしましたが、今後も学校の様子を発信していきますので、ご家庭での話題としていただきますようお願いします。

【児童が考えるこれからの学校】

今回、多く出てきた意見は、5年生が代表となって、拡大学校運営協議会(子供+職員+運営協議会委員)による話し合いでも話題にていきます。子供たちが創り上げる桜山小学校に生かしていきたいと思います。



【学校運営協議会委員による評価】



	質問事項	1回目	2回目
①	子供たちは、教育目標「健やかで、豊かな心と確かな学力を身に付け、未来を力強く切り拓く子ども」に育っていると思いますか。	88.9%	75.0%
②	子供たちは「主体的に動く力」が身に付いていると思いますか。	77.8%	87.5%
③	子供たちは「継続する力」が身に付いていると思いますか。	77.8%	100.0%
④	子供たちは「関わり合う力」が身に付いていると思いますか。	77.8%	75.0%
⑤	子供たちは、登下校など地域において、明るく元気なあいさつをしていると思いますか。	66.7%	75.0%
⑥	子供たちは、いじめを許さないなどの人権意識が育っていると思いますか。	66.7%	87.5%
⑦	子供たちは、約束やきまり（地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などでの遊び方等）が守られていると思いますか。	55.6%	37.5%
⑧	子供たちは、生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）の習慣が身に付いていると思いますか。	55.6%	12.5%
⑨	子供たちは、地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、地域への愛着が身に付いていると思いますか。	77.8%	87.5%
⑩	桜山小は、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	100.0%	100.0%
⑪	桜山小は、いじめや差別をなくすために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	100.0%	87.5%
⑫	桜山小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	66.7%	75.0%
⑬	桜山小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	66.7%	62.5%
⑭	桜山小は、学校や学級の様子及びお知らせ（学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等）を適切に伝えていると思いますか。	100.0%	100.0%
⑮	桜山小は、職員の働き方改革に向けて業務改善や家庭・地域の理解が進んでいると思いますか。	66.7%	37.5%

【学校教育目標等に関する内容 問1～問4】

- 「主体的に動く力」「継続する力」について高い評価でした。地域と一緒に取り組む「防災実践・ふれあい祭り・クリーン作戦」における子供たちの様子はもちろん、それ以外の教育活動を通しての評価だと思います。今後も引き続き、取り組めるようにして参ります。

▲ 教育目標や「関わり合う力」に関しては、いずれも 75% という評価でした。大きな課題だと考えています。教育目標に関しては、具体的かつわかりやすいものに子どもたちや職員、そして委員の皆様と一緒に変えていく予定ですので、すべてが当事者意識を持って取り組んでいくことで向上するようにして参ります。

【子どもたちの生活や規範意識、地域愛の育成に関する内容 問5～問9】

○ 「あいさつをしている」「人権意識が育っている」に関して、向上しています。第1回目の学校評価後、子どもたちと一緒に解決策を熟議し、実践してきた成果を評価していただいたのではないでしょうか。

▲ 「地域におけるルール遵守」「生活リズム」に関しては非常に低い評価結果でした。「生活リズム」の項目は「わからない」というのが主な理由ですので、今後は子どもたちの状況をデータ化してお伝えしたり、会議の中で話題にするといったことも考えていきたいと思います。また、「地域におけるルール遵守」に関しては、公園や道路等での問題行動に対してご意見をいただくことがあります。学校と家庭、そして地域も一体となって指導できるような環境を創っていきましょう。

【桜山小の教育活動に関する内容 問10～問15】

○ 学校運営協議会をはじめとする地域力活用、学校における人権教育、学校の広報活動において高い評価をいただきました。学校運営協議会設立当初から、本校では地域とのつながりを重視し、地域と一体となった取組を多数行ってきた成果だと思います。今後もよろしくお願ひします。

▲ 「授業の様子」につきましては、2月27日（金）に授業参観を予定しています。教師の話を受け身になって聞くといった以前の授業スタイルではなく、子どもたちが自ら学びを進めていく「進化型あらおベーシック（市全体で進めている授業）」を全学年で公開します。この際に委員の方々にも御案内をいたしますので、是非ご参観ください。

【先日の学校運営協議会委員の考えるこれからの学校】

◆自己肯定感が持てる子どもに育ってほしい。他人の価値観に振り回されず、自分のありのまま（成功や失敗にとらわれず）認めることができるよう

◆①明るくたくましい子②思いやりのある子③進んで学習する子に育ってほしい。

日本の小学校教育の目標は、人格の完成を目指し、心身ともに健康な国民を育成することであり、令和7年度グランドデザインに記載のある目標で十分達成されると考える。

◆回覧等で過去の行事等は分かるのですが、1ヶ月後の行事等地域の人たちも参加できるようなことがあれば参加を募ってほしい。子どもたちは元気にあいさつはもちろんですが、全体集会等でもっとたくさんの子どもたちに発表をしてほしい。発言者が定着しているような気がします。

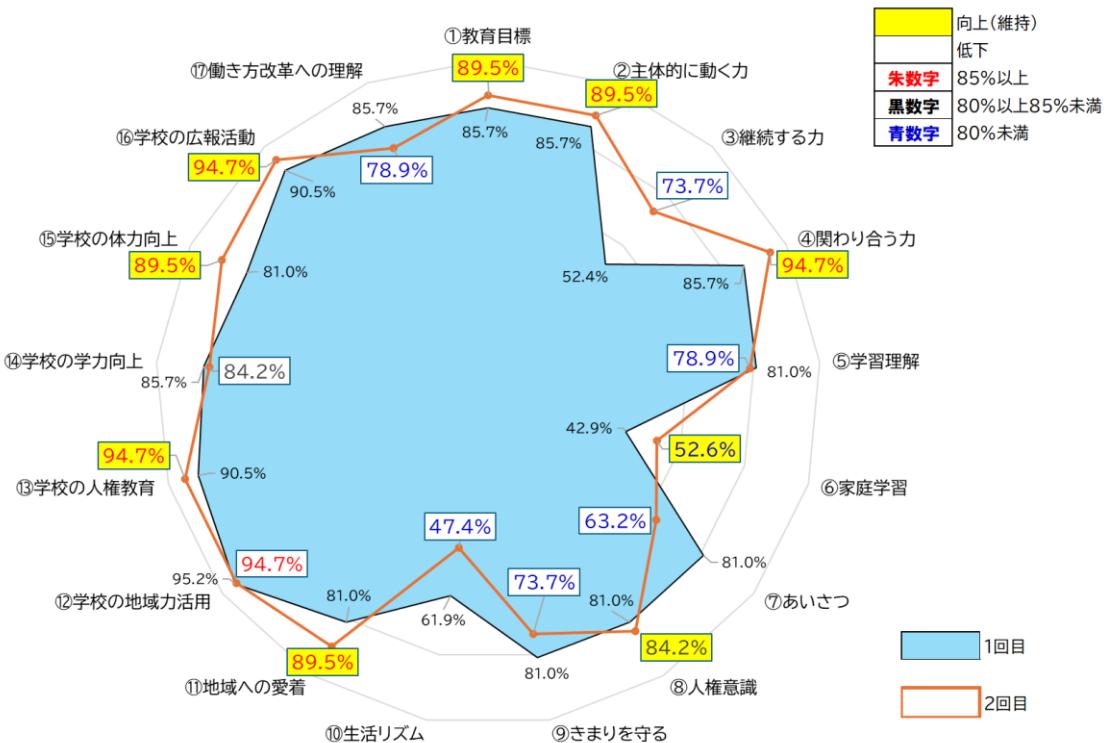
◆子どもたち同士で仲が良いことはいいことだが、中には我慢している姿も見られる。嫌なことは嫌だと言つていいんだよと何度も伝えたが、「もういいよ」と言わされたことがある。寛容でいいのかなと疑問に思うことがあった。男女ともに仲が良くいいことだと思う。主体的に動く力は着実に身に付いていくと思うことがしばしばある。

◆思いやりのある子、自立できる子、自信を持てる子に育ってほしい。自ら学び、考え、行動でき、他者を思いやり、困難を乗り越え、自分を信じられる主体的に社会で活躍できる人間になってほしいと思います。

◆子どもたち、先生方がいきいきと活躍できる学校になってほしい

【教職員による評価】

第2回学校評価結果【教職員から見た“子供や学校”的様子】



	質問事項	1回目	2回目
①	子供たちは、教育目標「健やかで、豊かな心と確かな学力を身に付け、未来を力強く切り拓く子ども」に育っていると思いますか。	85.7%	89.5%
②	子供たちは「主体的に動く力」が身に付いていると思いますか。	85.7%	89.5%
③	子供たちは「継続する力」が身に付いていると思いますか。	52.4%	73.7%
④	子供たちは「関わり合う力」が身に付いていると思いますか。	85.7%	94.7%
⑤	子供たちは、「学習内容がわかる」と思いますか。	81.0%	78.9%
⑥	子供たちが工夫して取り組むような家庭学習を出していますか。	42.9%	52.6%
⑦	子供たちは、登下校など地域において、明るく元気なあいさつをしていると思いますか。	81.0%	63.2%
⑧	子供たちは、いじめを許さないなどの人権意識が育っていると思いますか。	81.0%	84.2%
⑨	子供たちは、約束やきまり（地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などでの遊び方等）を守っていると思いますか。	81.0%	73.7%
⑩	子供たちは、生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）の習慣が身に付いていると思いますか。	61.9%	47.4%
⑪	子供たちは、地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、地域への愛着が身に付いていると思いますか。	81.0%	89.5%
⑫	桜山小は、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	95.2%	94.7%
⑬	桜山小は、いじめや差別をなくすために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	90.5%	94.7%
⑭	桜山小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	85.7%	84.2%
⑮	桜山小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	81.0%	89.5%
⑯	桜山小は、学校や学級の様子及びお知らせ（学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等）を適切に伝えていると思いますか。	90.5%	94.7%
⑰	桜山小は、職員の働き方改革に向けて業務改善や家庭・地域の理解が進んでいると思いますか。	85.7%	78.9%

【学校教育目標等に関する内容 問1～問4】

- 全ての項目で、前回よりも向上していました。前回5割程度だった「関わり合う力」は約20ポイント向上しており、意識して声かけや指導をしてきた成果だと思います。

【学習に関する内容 問5～問6】

- ▲ 学習の理解「学習内容がわかると思いますか」「工夫して取り組む家庭学習を出す」に

関して、いずれも低い結果となりました。子供たちの知識・理解の状況を見ての評価だと思いますが、「わかる・できる」喜びや「学びが楽しい」という気持ちを抱かせられるように、引き続き学校全体で取り組んで参ります。また、家庭学習のあり方については、タブレットによるものも増えてきていますので、これらも含めて子供たちが工夫するような取組を進めます。

【子供たちの生活等に関する内容 問7～問10】

- 「人権意識」に関しては前回から3ポイント向上していました。引き続き「いじめはいじめる側に問題があること」を強く意識するとともに、日常生活で見過ごしがちな子供たちの言葉やその言葉を使う感情にもアンテナを高くすることで「早期発見」「早期対応」を心がけていきます。
- ▲ 生活リズム等への声かけは、学校でも引き続き声をかけていきますが、ご家庭との連携が何より必要ですので、家庭への啓発を中心に行って参ります。

【地域とのつながりや連携に関する内容 問11～問12】

- 地域力活用については、前回同様9割前後の高い評価となっています。今後も地区協議会やげんき会等と連携を図り「子供が育つ学校・子供が育つ地域」になるよう、学校運営協議会でも話し合いを進めていきます。

【教職員自身の取組に関する内容 問13～問17 及び教職員自身の評価①～⑩】

- 人権教育への取組、体力面の取組、広報活動について高い結果となりました。人権教育に関しては、これまでの取組が、子供たちの日頃の姿として変容が見られるように、さらに磨き上げていきたいと思います。
- ▲ 「働き方改革」に関しては、残念ながら下がってしまいました。子供たちと向き合う時間の確保、質の高い授業にしていくために授業準備の時間の確保に向けて、次年度日課の改善を検討（2月から試行期間を設ける予定）しています。職員が健康で元気でいることが、最終的には子供たちにとって大きな影響を与えることを共通理解できるようになることを願っています。

【教職員が考えるこれからの子供や学校の姿】

